

平成18年度 第36回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成18年8月8日（火）13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、国武副学長、近藤副学長、羽田野事務局長、板谷
外国語学部長、迎経済学部長、木下文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学
学部長、谷村社会システム研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、棚次学術情報
総合センター長、伊野入試センター長、漆原基盤教育センター副センター長、吉
塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

配布資料

- 1-1 国際環境工学部教員採用選考報告について
欠員補充申請書（国際環境工学部）
- 1-2 欠員補充申請書（都市政策研究所）
- 2 学部学科間人事調整委員会の審議結果について
- 3 北九州市立大学の学部学科等再編について
- 4 外国語学部授業科目年次配当表
- 5 平成18年度ガイダンス IN 鹿児島実施報告について
- 6 北九州市立大学高大連携プログラム 2006 夏サマースクールプログラム
- 7 平成18年度春季公開講座アンケート集計結果
- 8 「公立大学法人化セミナー」「公立大学経営セミナー」「公立大学アドミニ
ストレーターセミナー」資料

（冒頭、第35回教育研究審議会議事録（案）について確認）

第1号 教員の採用について

* 平成18年10月採用人事について、国際環境工学部からの申請に基づき、環境機械シ
ステム工学科教員の後任補充人事について、教授職から准教授（助教授）職までの対
象拡大を提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 平成19年4月採用人事について、国際環境工学部からの申請に基づき、「環境化学ブ
ロセス工学科」「物質循環」を担当する専任教員1名の採用を提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（提案の承認の後、選考委員会を設置）

* 平成 19 年 4 月採用人事について、都市政策研究所からの申請に基づき、「地域経済」を担当する専任教員 1 名の採用を提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（提案の承認の後、選考委員会を設置）

第 2 号 教員の異動について

* 教員の学部・基盤教育センター間の異動（①法学部政策科学科から基盤教育センターへの異動②基盤教育センターへの異動同意書の撤回）について、資料 2 のとおり提案。

●基盤教育センターへの異動に対して、今回はなぜ保留ポストを使うのか。

○今回の政策科学科からの異動希望については、専門教育担当教員が基盤教育センターに異動することとなるため、専門教育への影響が大きい。学部から基盤教育センターへの異動は補充しないという原則対応では厳しいため、やむを得ず基盤教育センターの保留ポスト 1 を使用し、異動希望を認めることとした。本人の希望を尊重した。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第 3 号 学部学科等再編について

* 6 月 27 日の教育研究審議会にて承認された「北九州市立大学の学部学科等再編について」、教員配置の変更等を踏まえ修正のうえ、資料 3 のとおり提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第 4 号 英米学科のカリキュラムについて

* 英米学科のカリキュラムについて、資料 4 のとおり提案。

●主専攻・副専攻制の導入はどう進めるのか。

○今回の案を一つのモデルとして今後検討していきたい。

●科目数の削減などの調整はどのように行うのか。教育研究審議会に諮るべきではないか。

○新カリキュラムに係る開講科目や非常勤率などの主要な指標については、最終的には教育研究審議会にかけるが、その前に全学的に整理する必要がある。

●非常勤講師は、現行カリキュラムと新カリキュラムが並存するため予算が増額するのではないか。

○来年度予算については今後調整するが、2つのカリキュラムが平行するので、増額することが考えられる。完成年度からは、科目数が削減され、非常勤数も削減する予定である。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ①ガイドダンス IN 鹿児島について、資料 5 のとおり報告があった。
- ②サマースクールの開催について、資料 6 のとおり報告があった。
- ③春期公開講座アンケート集計結果について、資料 7 のとおり報告があった。
- ④公立大学協会での講演等について、資料 8 のとおり報告があった。
- ⑤次回の審議会を 9 月 1 2 日（火）に開催する予定である旨、事務局から説明があった。